

8 岩屋川 / 弁城川上流域



岩屋石灰岩地上部② / 標高 500 m

調査日 ▶ 2019年4月6日  
木の大きさ ▶ 胸高周囲 90cm × 樹高約 7m

No.7の「岩屋石灰岩地上部①」から右斜め上方に急傾斜の岩場を登る。あまり大きな桜ではないが、大岩の割れ目に生えており、谷側に伸びている。花は白色に近い淡紅色。この真下に胸高周囲 90cm、2本立ちのヤマザクラがある。

9 岩屋川 / 弁城川上流域



岩屋権現自然公園上方尾根上部 / 標高 471 m

調査日 ▶ 2019年4月6日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 151cm × 樹高約 20m

稜線上の比較的平たんな場所で露岩もない。幹は高さ 3m の所で分枝している。周囲にイヌシデ、アカメガシワ、タブキノ、ヤブニッケイ、ヤブツバキなどの高い木が茂っているため、樹下からは梢は見えにくい。花は白色に近い淡紅色。

10 岩屋川 / 弁城川上流域



岩屋権現自然公園上方尾根中部 / 標高 429 m

調査日 ▶ 2019年4月6日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 134・100cm × 樹高約 17m

No.9「岩屋権現自然公園上方尾根上部」から自然林の斜面を約 110m 下る。幹は根元から 2本立ちで大きい方は高さ 3m でさらに分枝している。根元には小石があるが大岩はない。ここもタブキノやヤブツバキなどが茂り、樹冠は見えにくい。花は淡紅色。

11 岩屋川 / 弁城川上流域



岩屋権現自然公園上部① / 標高 374 m

調査① ▶ 1998年3月30日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 169cm × 樹高約 20m  
調査② ▶ 2019年4月13日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 182cm × 樹高約 22m

自然公園上方の核山とその上の自然林との境目にエドヒガン 3本と珍しいヤマナシの大木が並んで存在。この中で最も東にある木。枝張りは南北に 20m、東西に 15m と大きい。キツタなどが上がり、木を弱らせている。花はソメイヨシノより少し濃いピンク色。

12 岩屋川 / 弁城川上流域



岩屋権現自然公園上部② / 標高 375 m

調査① ▶ 1998年3月30日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 131cm × 樹高約 18m  
調査② ▶ 2019年4月6日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 140cm × 樹高約 19m

No.11と同じ並びの真ん中の木で、No.11から約 10m 離れ、30度の傾斜地に生えている。高さ 5m の所で分枝しているが、片方は枯れている。スギ、タブキノ、ケヤキなどに遮られ、樹冠はよく見えない。咲き始めは紅色、後にソメイヨシノより少し濃い色になる。

13 岩屋川 / 弁城川上流域



岩屋権現自然公園上部③ / 標高 376 m

調査① ▶ 1998年3月30日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 156cm × 樹高約 20m  
調査② ▶ 2019年4月6日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 165cm × 樹高約 23m

No.11と同じ並びの桜の内、最も西側にある。露岩 30%、30度の傾斜地にある。直径 10cm 以上のヤマフジのかずらが 3本も上がっており、木が弱ったのか、2019年は開花しなかった。1998年で花は、咲き始めは紅色、後にソメイヨシノより少し濃い色になった。

14 岩屋川 / 弁城川上流域



岩屋線林道① / 標高 300 m

調査① ▶ 1998年3月30日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 192cm × 樹高約 20m  
調査② ▶ 2019年3月31日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 231cm × 樹高約 23m

岩屋権現自然公園の林道ゲートから 150m、左に小さな谷を 30m 登る。谷底から 10m 左上の斜面にある。木はタブキノやカゴノキ、ヤブニッケイなどの高い木に埋もれ、危険な状態にある。咲き始めは紅色、後にソメイヨシノより少し濃い色になる。推定樹齢 95年。

1 岩屋川 / 弁城川上流域



弁城ダム人家近く / 標高 155 m

調査日 ▶ 2018年3月30日  
木の大きさ ▶ 根回り 150cm × 樹高約 10m

岩屋線林道分かれから約 50m 先にある。高さ 0.8m の所で西側に 1.5m の所で北側に分枝してて枝張りが広い。主幹は高さ 1.5m の所で根回り 128cm。花は淡紅色。

2 岩屋川 / 弁城川上流域



岩屋線林道東側 / 標高 172 m

調査日 ▶ 2019年4月2日  
木の大きさ ▶ 根回り 70cm × 樹高約 9m

林道から約 30m。若い木で直幹。花はほとんど白色。周囲には照葉樹が茂り、花は樹下から見えない。

3 岩屋川 / 弁城川上流域



岩屋線林道下部 / 標高 197 m

調査日 ▶ 2018年3月30日  
木の大きさ ▶ 根回り 128cm × 樹高約 15m

林道途中から人家の方への道を約 50m 下ると、左側の竹藪の下部に立っている。咲き始めは紫紅色。満開時は紅色。幹の高さは 1.5m の所で分枝している。

4 岩屋川 / 弁城川上流域



岩屋権現の斜め上方 / 標高 340 m

調査日 ▶ 2019年4月2日  
木の大きさ ▶ 根回り 134cm × 樹高約 13m

岩屋権現から岩屋川を約 100m さかのぼり、杉山の小さな谷を左上方に約 50m 登ると杉林と自然林との境に立っている。一本立ちで、高さ 8m まで分枝なし。スダジイやタブキノ、ヤマザクラなどの高い木に囲まれている。花は淡紅色。

5 岩屋川 / 弁城川上流域



岩屋川砂防堤 / 標高 326 m

調査① ▶ 1998年3月30日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 34cm × 樹高約 5m  
調査② ▶ 2019年3月31日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 95cm × 樹高約 8m

岩屋権現自然公園の最上方、岩屋川右岸、高さ 2m の人口の石垣の上にある。幹は川の方に差し出しており、タブキノが邪魔している。花は紫紅色で、散る頃まで色を残していた。

6 岩屋川 / 弁城川上流域



天狗桜 / 標高 455 m

調査① ▶ 1998年3月30日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 190cm × 樹高約 8m  
調査② ▶ 2019年4月6日 / 木の大きさ ▶ 胸高周囲 220cm × 樹高約 10m

木は 30度の傾斜地に生えており、すぐ西側には石灰岩の大きな岩があり、斜面上方には石灰岩の累積する大地がある。枝針は東西に 20m 以上、南北に 13m ある。もともと紅紫色の花だったが、二度目の調査時は淡紅色に。樹齢推定は 100年。

7 岩屋川 / 弁城川上流域



岩屋石灰岩地上部① / 標高 476 m

調査日 ▶ 2019年4月6日  
木の大きさ ▶ 胸高周囲 145cm × 樹高約 12m

天狗桜からほぼ水平に杉山を抜けると次の谷間にある。周辺は岩場で上部はヤブツバキやシロタモ、ヤブニッケイなどの自然林で、その他はスギの造林。直径 10cm 以上のヤマフジ 2本が上がっていた。花は白色に近い。

町内 43 のエドヒガン

▼ 調査によつて確認された、福智町内に群生する希少価値の高いエドヒガンの桜 43 本。7 ページから 9 ページかけ、すべての桜を個体別にご紹介します。

町

内最古の虎尾桜の種子を小鳥が散布して生まれたと考えられる上野地域のエドヒガン。桜は太陽の光を好むため、暗い場所では発芽・生育できません。太平洋戦争中の福智山地は多くの木が伐採され、山が荒れていたので桜の生育に好都合の環境が整っており、現在見られるエドヒガンの大木の多くはこの時期に発芽したものと考えられています。なお、戦後の大造林政策により多くのエドヒガンが消失し、現在の本数にまで減少したとも言われています。

No.17 ~ No.26 上野地区 (9)

平成元年に虎尾桜が再発見された後、エドヒガンであると明らかになってから 32 年に渡り調査を進め、発見された 43 本のエドヒガン。桜が分布する特徴と一緒に、すべてのエドヒガンを 3 ページにかけて一挙にご紹介します。

# 希少桜の群生地

ぐんせいち



紹介する大多数のスポットは獣道！

桜鑑賞にご注意を



6 ~ 9 ページでご紹介する町内のエドヒガンの多くは、大変危険な山中に自生しています。むやみに行くこと遭難や大ケガをする可能性が非常に高いため、危険のない場所から見るなど、安全には十分留意してご鑑賞ください。

分

布密度が最も高い岩屋川及び弁城川上流域。岩屋地域の多くは、スギの植えられない石灰岩地帯や、林班の境の自然林が残されている場所に生育しています。石灰岩地は貧栄養、高カルシウムで乾燥がひどいため、一般の樹木の成長が遅延。太陽の光を遮る周囲の樹木がないため、生育には好都合の環境であったと考えられます。弁城川上流は変成岩で、所により石灰岩が露頭。この地域には町内で 2 番目に大きなエドヒガン「奥ヶ畑の大ヒガン」があります。



分

の地域の上部山地はほとんどがスギの造林地ですが、山麓部はスギ・ヒノキの造林、竹林、雑木林がパッチワーク状に分布する上弁城・広谷・長浦地域。桜は雑木林の中にありますが、大半はヤマザクラでエドヒガンの本数は多くありません。しかし、長浦地域には虎尾桜に次ぐ大きさを誇る「墓守の大桜」、上弁城地区には福智山系で 3 番目に大きな「奥ヶ畑の大ヒガン」があるなど、あと 1・2 年程度で環境省が定義する「巨樹」の条件に当てはまる大きなエドヒガンが生育しています。

No.1 ~ No.16 岩屋川 / 弁城川上流域 (16)

No.27 ~ No.37 上弁城・広谷・長浦地区 (11)